

「小さな湧き水になれ！」

新渡戸稲造記念センター長
順天堂大学 名誉教授
一般社団法人 がん哲学外来 理事長
「明日を考える会 ～次世代の社会貢献～」
会長 樋野興夫

この度、「樋野動物園」(2019年10月13日開設) 1周年記念冊子が発行された(写真下)。必読書である。

筆者は、『役割意識と使命感～「新しい自分の発見 & 他人の理解が深まる」～』を寄稿した。個性を引き出す「種を蒔く人」の「実例と実行」が「樋野動物園」の理念である。

『「樋野動物園」のテーマソング』の作製も進められ



「樋野動物園」1周年記念誌
個性と多様性

ている。11月7日の【『樋野動物園』1周年記念誌～「個性と多様性」～】出版記念シンポジウムで、披露されることであらう。

乞うご期待である。まさに、「軽やかに、そしてものを楽しむ」の訓練でもある。先日10月11日は、落合川の『街道の旅』であった。大変有意義な、人生の良き思い出となった。今回の学びは、「小さな湧き水になれ！」であった。新たな『言葉の処方箋』の誕生である。10月17日は、対がん協会でのZoom講演であった(写真上)。

「明日を考える会？次世代の社会貢献？」のモットーは、「冗談を実現する胆力」の継承である。

Shake Hands
One Team One Hart

リレー・フォー・ライフ・ジャパン
東京上野 2020
【オンライン開催】 ■上野リレーフォーライフジャパン実行委員会

2020年10月17日(土) 開催
開場 15:30 / 開演時間 16:00～21:00

※観覧 一般3,000円、小学生以下無料
※観覧方法: オンライン(視聴)はzoom <https://zoom.us/j/92000000000>
※観覧料は、公益財団法人日本財団(団費)を減じてTVMの委託料(17日(土)に限り)を減らして下げています。

樋野 興夫先生 講演
がん哲学外来 ～『寄り添う』と『支える』の違いとは～
【講演時間】 18:30～18:55 講演
18:55～19:15 質疑応答

がん哲学外来
「病院であっても病人ではない」
医療現場と患者の間にある「隙間」
を対話によって埋め、がんであ
っても尊厳を持って人生を
生きていく社会を目指す。

樋野 興夫 先生
新渡戸稲造記念センター長
順天堂大学 名誉教授
一般社団法人がん哲学外来 理事長

～『寄り添う』ということ～

編集者

今、世の中は、コロナ不況の時と言われます。その一方で好調な企業も少なくありません。そのような企業は、多くの場合に売り手目線ではなく、お客様の必要をよく見いだしていると言われます。売れないのではなく、お客様がほしい商品がないだけだ、とも言われます。

相手の立場に立つ例として、ある宅配便会社は、かつて「お客様のわがまま運びます」という言葉を

キャッチフレーズにしていました。

身近な私たちの人間関係においても、自分の立場ではなく相手の立場に立つことが『寄り添う』ことの基本です。しかも、相手のかゆいところ、時に相手自身が気がついていないところにまで、深く思いをはせ、仕えることができたなら、『寄り添う』ということが更に深まるのではないのでしょうか。身を低くし、見上げるように相手に目を注ぎつつ関わるなら、きっとその人の心は、「寄り添ってもらえた」という思いに満たされるのではないかと思います。

明日を
考える
ヒント

「逆境も善用すれば、修養のための大きな糧となり、順境に到達する手段となるのだ」(新渡戸稲造)
「順境には楽しみ。逆境の日には考えよ」(伝道の書 第7章14節)